

大阪日口協会・講演会／3月7日／松里公孝先生

ウクライナ戦争の原因と現況、 そして『トランプ停戦交渉』の行方



米トランプ政権によるベネズエラ侵攻で始まった2026年の世界は、ウクライナ、パレスチナでの戦火が収まらず、さらにイランやグリーンランドをめぐる軍事的・政治的緊張が高まり、ますます混迷を深めているように見えます。

トランプ米大統領の再登場以来、昨年1年間かけて進んだウクライナ戦争の「トランプ停戦交渉」は紆余曲折を繰り返しつつも、現状の前線で戦闘を固着させ、停戦後のウクライナとロシア双方の安全の保証をいかに確保するかに焦点が絞られてきているようですが、まだ確かな着地点は見えてきません。ロシア史とソ連解体後のウクライナ政治に通じた研究者として高名な松里先生に、「トランプ停戦交渉」の行方を読み解いていただきます。皆様の多数のご参加をお願いいたします。

日時：2026年3月7日（土）14：30～16：30

会場：ドーンセンター（府立男女共同参画・青少年センター）およびオンライン開催（Zoom）

*京阪電車、地下鉄谷町線「天満橋」駅から徒歩5分

講師：松里 公孝 先生（元東京大学教授、上海外国語大学特別招聘教授）

演題：「ウクライナ戦争の原因と現況、そして『トランプ停戦交渉』の行方」

参加費：1000円（郵便振替口座：00980-8-0265233 加入者名：大阪日口協会）

参加ご希望の方は、3月5日までに、電話またはE-Mailにてお申込みください。その際、オンライン参加か、会議室参加かを明記してください。

<講師略歴> 松里 公孝（まつざと・きみたか）先生

1960年、熊本県生まれ。東京大学法学部、同大学大学院法学政治学研究科修了。法学博士。北海道大学スラブ研究センター、東京大学大学院法学政治学研究科で勤務した後、定年退職。現在は上海外国語大学特別招聘教授。著書：「ウクライナ動乱—ソ連解体から露ウ戦争まで」（ちくま新書 2023年）、「ポスト社会主義の政治—ポーランド、リトアニア、アルメニア、ウクライナ、モルドヴァの準大統領制」（ちくま新書 2021年）など多数。

主催：大阪日口協会 TEL 090-7341-1599 E-Mail osaka.nichiro@gmail.com